

ひかり

2022年8・9月号



日本聖公会 三光教会

第706号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

St. Matthew

「自分に命じられたことをみな果たしたら、『私どもは役に立たない僕(しもべ)です。すべきことをしたにすぎません』と言いなさい。」

(ルカによる福音書 17:10)

「共苦によるつながりを生きる」

執事

ヤコブ萩原

おぎわら

充

みつら

「誰でも、私のもとに来ていながら、父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分の命さえも憎まない者があれば、その人は私の弟子ではありえない。自分の十字架を負って、私に付いて来る者でなければ、私の弟子ではありえない」(ルカ 14・26、27)という主イエスのことばは厳しいものです。これをどのように受けとめたらよいのでしょうか。わたしは主イエスが厳しいことをいわれるとき、「これはイエスさまがとても大事なことをいわれてようとしているのだな」という気持ちをもって聴くようにしています。そして自分の解釈や、自分の都合で、主イエスのことばを薄めたり、歪めたりしないように、わたしに向けていわれていることばとして、聴こうとします。

「十字架を背負う」ということは、様々な解釈ができると思いますが、わたしは「死を背負う」

また「人間の有限性を背負う」ということをまず思い浮かべます。わたしたち人間は誰もが死をむかえます。死を無きことのようにして、死を忘れて生きることが可能かと思えます。しかし、死を背負って、この世の命に限りがあることを噛みしめながら生きる。すると、違うものが見えてくるのではないかとわたしは考えます。それは今ある限りあるものをいとおしんで生きることです。わたしたちが死ぬとき、家族も、持っているものも、この世のものとはお別れせねばなりません。

宗教とか、信仰というのは、「わたしはいつたか何者なのか」という問いに関わることだとわたしたちは考えています。主イエスは神の「あなたはわたしの愛する子。わたしの心に適う者」このことばを胸に、みんなから汚れ、罪びとと呼ばれていたひとたちと関わって生きていきました。そして自分の家族から離れ、名誉や安全を手放し、人々からのしられ、侮辱されようと、十字架刑で殺されるまで、主イエスは「自分はいったい何者なのか」という

問いにずっと向き合いながら生きられたのだとわたしは思います。

わたしがわたしであるのは、

神の愛によつて生きるときである。神とのかかわり、人とかかわり、つながりを生きるのがわたし、イエスである。そのように考えておられたのではないだろうか。それはイエスさまだからできたことであつて、わたしにはできないとみなさんは思われるかもしれない。死、そして人間の有限性を見つめながら生きるということは容易ではありません。しかし、死、この世の命に限りのあることを見つめると、人はつながって生きることができるとはならないかとわたしは思います。十字架を背負うことは苦しいことだけど、それによつて、神と人とのつながりを生きる。わたしは孤独ではなく、つながりにあつて、わたしはわたしとなる。

所有することによらず、死を見すえながら、神の愛によつて生きることは茨の道です。しかし、わたしたちのうちに生きる主イエスと共に死を背負うのです。そして教会には、自分の十字架を背負うという使命を帯びた仲間がいま

す。誰かが躓いたり、倒れそうになっても支え合う。そして、その後ろには主イエスが一緒にいてくださる。そういう共に苦しむ、共苦によるつながりを生きる。だからわたしたちはひとりではないのです。

9月～11月の予定

◆9月

18 日(日) 聖霊降臨後第15主日
19 日(月) 主教セオドル
20 日(火) オーストラリア、
オセアニアの

殉教者

21 日(水) 福音記者使徒聖マタイ日
23 日(金) 秋期聖職按手節
24 日(土) 秋期聖職按手節
25 日(日) 聖霊降臨後第16主日
29 日(木) 聖ミカエルおよび諸天使の日
30 日(金) 司祭教会博士ジエローム

◆10月

2 日(日) 聖霊降臨後第17主日
3 日(月) 10月逝去者記念礼拝
4 日(火) アシジのフランシス
9 日(日) 聖霊降臨後第18主日
16 日(日) 聖霊降臨後第19主日
17 日(月) 殉教者主教イグナシウス
18 日(火) 福音記者聖ルカ日
23 日(日) 聖霊降臨後第20主日
28 日(金) 使徒聖シモン・使徒聖ユダ日
30 日(日) 聖霊降臨後第21主日

◆11月

1 日(火) 諸聖徒日
2 日(水) 諸魂日
6 日(日) 聖霊降臨後第22主日
7 日(月) 11月逝去者記念礼拝

B S A セミナー

「教えて 教区はどうなるの？」

10月8日(土)13時から 三光教会会館でZOOMにて参加できます。

「教えて 教区はどうなるの？」の勉強会が一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会（B S A）主催で開催される。講師は、日本聖公会管区事務所総主事 エッサイ矢萩新一司祭がお話をされます。

今どんなことやっているの？どこまで話が進んでいるの？など分からないことだらけで、どうなるのだろうと疑問に思うことがたくさんあるかと思います。是非、この機会に参加してこれからの教区について考えてみませんか。

「からし種の会」から

—よろしく、御協力を！—

ます。釜石から戻った後、仮設住宅の方々との交流と慰めのために手芸の会を始められたとのこと。当初は聖パウロ教会の婦人方と一緒に三光教会で、山田洋子さんが世話なさったようです。

作品を持参して何度も訪問したり、作品を売って献金なされたりしたようで、その後山田さんが帰阪、教会も建築等で事情が変わり、世話役も関塚さんに交代し、会場も佐藤宅になりました。

この会に協力してくださった方も多く、ある時は香蘭父母の会からの参加もありました。三年くらい経って、高柳さん(当時聖職候補生)が聖パウロ勤務になった頃からパウロのメンバーはパウロでお仕事を持つようになり、私達のメンバーは新しく信徒の仲間に入られた萩原さん、おむつの会から米原さん、亡くなった篠原信江さんも参加され、仕事を楽しみにして続けてきました。

「からし種の会」が制作した手芸の品々は会館に並べて販売しています。この収益は教会を通して被災地に捧げています。材料は教会員から頂いたものなどを用いて、皆で眺め、考え、用いて作品にします。作業時間

「からし種の会」は2011年、東日本大震災の被災地にボランティアとして参加された有志の方々がつくられた会として発足したと聞いてい

は、月一日6時間位。昼食時には必ず祈りを入れてます。

メンバーは6〜7人。まだまだ災害が続くこの世の中。会員の祈りの中で生み出す手芸の品々を御理解の上、よろしく御協力のほどお願い致します。現在の係は萩原多美子姉です。
(記・佐藤百合子)



「からし種の会」販売中の作品

〈教区〉

中高生キャンプ報告

主の平和が有りますように。

8月18日(木)から21日(日)にシャ
ルームロッジにて東京教区中高生世

代キャンプが行われました。最初に、このキャンプを支えて下さった多くの方々に感謝いたします。参加者は計13人、三光教会からは萩原執事、穂積香菜さんと私が参加しました。今年にはコロナ禍以降3年ぶりにオフラインでの開催となりました。私の教会における中高生の交わりのきっかけは2017年のキャンプで、キャンプで出会った仲間たちと過ごす空間が今でも大好きです。コロナ禍に私はメンバーとスタッフどちらも経験しています。皆で集まる機会が減ったことで教会の中高生の交わりも希薄になってしまっていることを感じています。

今年のキャンプテーマは「余白」です。椅子取りゲームで席が空いているような、あなたに居てもらいたいための場所。私たちスタッフが高中生だった時、キャンプで出会った仲間との空間が大切な居場所であったように、今の中高生にもこの繋がりが大切な居場所になって欲しいという願いを込めました。プログラムの準備にあたり、たくさんさんの悩み、不安なこともありましたが、当日、メンバーたちは自分たちなりに何かを感じて、大切なものを持って帰ってくれ

ました。このキャンプはいつだって、メンバーが中心です。今まで感じてきた「キャンプって一期一会だな」を今年も感じ、胸がいっぱいになりました。

この交わりが来年も、再来年も新しいメンバーと共に続くことを願っています。
(記・土井優美)

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝6:30の早祷に引き続いて聖餐式